<p>研究成果</p> <p>3,000 字程度 (別紙添付可)</p>	<p>1、共同班の成果を冊子「現代沖縄農業の方向性 序論」にまとめて刊行するとともに、沖縄地域学リポジトリで閲覧可能にした。目次は次の通り。</p> <p>第1章 沖縄県の農業実態－「農業関係統計」(平成26年3月)に見る沖縄県の農業－(三住泰之氏)</p> <p>第2章 沖縄県の農業の方向性－持続可能な農業のあり方を目指して(組原)</p> <p>第3章 沖縄のアグロエコロジー (I)－ハルとナンクルミーのはざまを巡る旅－(伊藤)</p> <p>第4章 琉球弧の島々－その文化と産業(牧)</p> <p>第5章 世界の中の沖縄農業(組原)</p> <p>2、調査旅行</p> <p>①伊是名島(7月13～14日、参加:上平、牧、伊藤、組原他)</p> <p>②久高島(7月16日、参加:牧、組原他)</p> <p>③南米農業実態調査(2月13日～3月15日、組原)</p> <p>④バリ島の衣文化とアグロエコロジー現地調査(4月9～16日、12月25～31日、伊藤)</p> <p>⑤フィリピン北部山岳地域の森林農法現地調査(4月4～5日、10月2～3日、伊藤)</p> <p>⑥ラオス北部の衣文化とアグロエコロジー現地調査(6月8～17日、伊藤)</p> <p>⑦西表島の衣文化とアグロエコロジー現地調査(7月16～18日、伊藤)</p> <p>⑧タイ・チェンマイ県の衣文化とアグロエコロジー現地調査(11月26日～12月2日、2月28日～3月5日、伊藤)</p> <p>3、研究会:7月15日と2月3日の2回、いずれも名誉教授控室にて実施。</p> <p>4、遂行中の研究:「現代沖縄農業の方向性 序論」の続編刊行に向けて、現在班メンバー間で連絡を取りながら作業継続中である。</p>
--	---